

# せんだいメディアテーク年報 (2019年度)

## はじめに

2019年5月。元号は平成から令和に変わりました。

2016年度から「調査と表明」をテーマとして実施してきた企画事業は、当年度から新たなテーマを「ナラティブの修復」とし、主として仙台を拠点とし、「物語りによる世界制作」の観点から震災後の東北に向き合って活動している表現者たちによる展覧会等の開催に取り組むこととしました。その初年度の展覧会として、アーティスト青野文昭氏による展覧会「ものの、ねむり、越路山、こえ」を開催しました。初期の作品から東日本大震災以降に制作された大型作品及び新作による構成で、アーティスト本人にとって公共施設で開催した初めての大きな個展となりました。

震災があらわにした無数のナラティブ（物語り・語り）の存在が、次第に薄れつつある今、メディアテークから発信するアーティストによる「ナラティブの修復」を通して社会課題と向き合い、わたしたちの地域とそれをとりまく社会を結ぶつながりを修復するとともに、わたしたち自身の新しい物語を獲得していきたいと考えています。

館の外に出て、「未知のものに向かう」現代アートの力を通し、交わりと学びを地域に展開するプロジェクトとして立ち上げた「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」も当年度で4年目を迎えました。そのひとつである「川俣正／仙台インプログレス」では、人道橋の機能を持つ作品「みんなの橋」実現へ向けた準備とあわせて、貞山運河に沿ったエリアでの南北の往来や、海側の魅力をさらに引き出すような作品として「みんなの木道」づくりに、地元の方々はもちろん、国内外からの参加者が関わりながら取り組みました。

またメディアテーク開館20周年イベントとして建築家伊東豊雄氏をお招きし、「メディアテークは、なにを目指してきたか」というテーマでご講演いただくとともに当館館長との対談を行いました。会場に詰めかけた多くのみなさんにお二人のメッセージを届けることができました。

2020年を迎えた仙台は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受けることになりました。仙台市のガイドラインに基づき、市内の文化施設、社会教育施設等においては、主催・共催事業の中止・延期や施設の一部利用停止の措置が取られることになり、当館においても震災の記録・市民協働アーカイブ事業の「星空と路」等のイベントを中止することとなりました。

メディアテークはこれまで、人と人が出会い、異質なものに触れ、メディアテークの外へ、そして多様なものへ広がりを作り出そうとする市民の活動のノード（結節点）となることを目指してきました。新型コロナウイルス対策として「新しい日常」への対応が求められる中で、これからのメディアテークがどのような取り組みを作り出し、みなさんと歩き続けていくことができるのか、ともに考えていくことができれば幸いです。

## 目次

### 1. 施設の概要

- 1-1. 施設
- 1-2. 沿革
- 1-3. 組織
- 1-4. 収支
- 1-5. 施設使用実績

### 2. 企画事業

- 2-1. 「ナラティブの修復」事業
- 2-2. 発信・活用推進事業
- 2-3. 「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」
- 2-4. その他事業

### 3. 受託事業

- 「3がつ11にちをわすれないためにセンター」（震災アーカイブ事業）

### 4. 情報サービス事業

- 4-1. 映像音響ライブラリー
- 4-2. 教材ライブラリー
- 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）
- 4-4. 地域映像ライブラリー
- 4-5. デジタルアーカイブ事業
- 4-6. 活動支援事業

### 5. 配布・刊行物等

- 5-1. 書籍や報告書等の印刷物
- 5-2. DVDメディア等の映像音響資料
- 5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等
- 5-4. その他常備している印刷物

## 1. 施設の概要

1. 施設の概要 > 1-1. 施設、1-2. 沿革

### 1-1. 施設

- 所在地 仙台市青葉区春日町2番1号  
 開館時間 9:00－22:00（階により異なる）  
 敷地面積 3,949㎡  
 構造 鉄筋造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建  
 延床面積 21,682㎡  
 主な施設内容  
 地下2階 書庫、収蔵庫、機械室  
 地下1階 駐車場、書庫  
 1階プラザ（定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ）  
 2階ライブラリー（映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧）  
 3・4階ライブラリー（仙台市民図書館）  
 5階ギャラリー 3300（固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間）  
 6階ギャラリー 4200（可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間）  
 7階スタジオ（施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ）

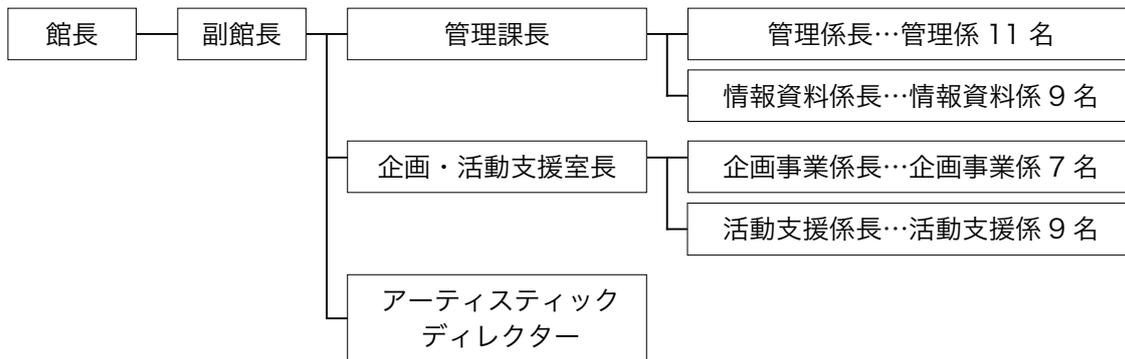
### 1-2. 沿革

- 平成 元年（1989年） 宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。  
 平成 4年（1992年） 定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。  
 平成 6年（1994年） 市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための  
 情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。  
 平成 7年（1995年） 設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。  
 平成 9年（1997年） 12月着工。  
 平成12年（2000年） 8月竣工。  
 平成13年（2001年） 1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理（図書館は仙台市直営）。  
 グッドデザイン大賞受賞。  
 平成16年（2004年） 仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。  
 平成19年（2007年） 業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。  
 平成20年（2008年） 館内フロアレイアウトを一部変更。  
 平成23年（2011年） 地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。  
 5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。  
 平成25年（2013年） 館長に鷲田清一（哲学者）が就任。

### 1-3. 組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課

指定管理者 公益財団法人仙台市市民文化事業団（図書館は仙台市直営）



（他、嘱託職員含め46名 令和元年〔2019年〕5月時点）

### 1-4. 収支

#### （1）収入の部

指定管理料	591,472千円
事業収入（企画事業、受託事業を含む）	73,294千円
《内訳》	
・補助金	42,743千円
・各種助成金	11,500千円
・入場料等	1,088千円
・受託事業収入	13,112千円
・仙台市市民文化事業団自主財源	1,255千円
・負担金収入	3,596千円

#### （2）支出の部

管理運営費（施設の維持管理、情報サービス事業を含む）	591,472千円
事業費（企画事業、受託事業を含む）	73,294千円

### 1-5. 施設使用実績

#### (1) 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日(週)数 /開館日(週)数	日(週)数ベース 利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	42/45	93.3%	107,441
6階ギャラリー	週	39/50	78.0%	115,558
オープンスクエア	日	224/338	66.3%	63,078
スタジオシアター	1日3区分	175/345	50.7%	18,391
2階会議室	1日3区分	274/336	81.5%	3,826
7階会議室	1日3区分	333/349	95.4%	8,554
プラザ控室a	1日3区分	166/349	47.6%	1,065
プラザ控室b	1日3区分	192/349	55.0%	2,051
託児室	1日3区分	19/349	5.4%	116

\*5/6階ギャラリーは週数ベース

使用料等徴収額 63,622千円

#### (2) 視察等の対応

視察 120件 1,474人

報道（新聞・テレビ・書籍・雑誌） 110件

#### (3) その他

博物館実習の受け入れ 7名（6校）

## 2.企画事業

メディアを活用した生涯学習活動および文化活動にかかる、展示・上映・ワークショップ等。

### 2-1.「ナラティブの修復」事業

記憶の継承と新たな創造の接続についてメディアを活用した探求をおこなう事業。アーティストと協働し今日的な社会の課題や哲学的な問いを同時代性として提示する《展覧会》のほか、多様な市民グループが地域文化の記録や創出をはかる「メディアスタディーズ」では、対話と思索の場《スタジオ情報発信\_考えるテーブル》、活動発表の機会《スタジオ情報発信\_ラウンジ交流展示》、民話などの資料をデジタル情報として記録する《地域文化アーカイブ》を実施。

#### A《展覧会》

2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 > A《展覧会》

##### (1) 青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ

会期：2019年11月2日-2020年1月12日  
 会場：6fギャラリー4200  
 入場・参加者数：6,533名  
 入場料等：一般500円（大学生・専門学校生含む）、高校生以下無料（豊齢カード、障害者手帳をお持ちの方は半額）  
 共催等：一般財団法人地域創造、公益財団法人花王芸術科学財団（助成）  
 TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報S-style、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2（後援）  
 協同組合仙台卸商センター（協力）

「なおす」ことを主題に、家具や日用品など廃棄物や拾得物の欠損箇所を補完することで新たな形態を生みだしている仙台の美術作家、青野文昭氏の初期作品から最新作までを紹介する展覧会。荒浜や作並など仙台の各地、宮古の鉤ヶ崎、あるいは吉祥寺や沖縄など、さまざま場所で拾ったモノから物語のように紡ぎ出した履歴を配置し、1,000平米の6階ギャラリー全体を作品化しました。



##### (2) ギャラリーツアー

（「青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ」関連企画）

会期：2019年11月2日、11月16日、11月23日、12月7日  
 会場：6fギャラリー4200  
 入場・参加者数：150名  
 入場料等：無料（要展覧会チケット）  
 共催等：（展覧会に同じ）

展示作家や担当学芸員の解説とともに展覧会を見るツアーを4回にわたり実施しました。



##### (3) 対談・レクチャー

（「青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ」関連企画）

会期：2019年11月16日、11月23日、12月7日  
 会場：7fスタジオa  
 入場・参加者数：116名  
 入場料等：無料（要展覧会チケット）  
 共催等：（展覧会に同じ）

展示作家やゲストによるトークイベントを開催しました。11月16日のゲストは福住廉氏（美術評論家）、23日は青野文昭氏による作品解説、12月7日のゲストは榎木野衣氏（美術評論家）



2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 > A《展覧会》

---

**(4) 小森はるかによる青野文昭のドキュメンタリー上映**（「青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ」関連企画）

---

会期：2019年12月14日  
会場：7fスタジオシアター  
入場・参加者数：57名  
入場料等：無料（要展覧会チケット）  
共催等：（展覧会に同じ）

美術家青野文昭氏の制作を追った映像作家小森はるか氏の新作ドキュメンタリーを上映しました。

---

**(5) シネマてつがくカフェ**

（「青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ」関連企画）

会期：2019年12月14日  
会場：7fスタジオa  
入場・参加者数：35名  
入場料等：無料  
共催等：（展覧会に同じ）

映像作家の小森はるか氏が青野文昭氏の制作過程を記録した新作ドキュメンタリーをもとに対話しました。  
[ファシリテーション]  
西村高宏（臨床哲学、福井大学准教授）  
[ファシリテーショングラフィック]  
近田真美子（精神看護学、福井医療大学准教授）



## B《スタジオ情報発信\_\_考えるテーブル》

2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 >  
B《スタジオ情報発信\_\_考えるテーブル》

### (1) 考えるテーブル てつがくカフェ

**会期**：2019年8月18日、11月3日、  
11月30日、2020年1月25日(全4回)  
**会場**：7fスタジオa  
**入場・参加者数**：121名(35名、30名、  
21名、35名)  
**入場料等**：無料  
**共催等**：てつがくカフェ @せんだい(共  
催)、一般財団法人地域創造(助成)

2011年度から継続し、9年目を迎  
えた事業。参加者の方々と毎回その  
場でテーマを決めました。「表現と  
は何か?」「人間」「誠実さとは?」「信  
じるとは何か?」といったテーマに  
ついて、参加者同士で対話を深めて  
いきました。



### (2) 考えるテーブル ユースてつがくカフェ てつこの部屋

**会期**：2019年4月20日、5月25日、  
6月22日、7月28日、8月25日、  
9月29日、11月23日、12月21日、  
2020年1月26日(全9回)  
※2020年2月29日は、新型コロナウ  
イルス感染症拡大防止のため中止  
**会場**：7fスタジオa  
**入場・参加者数**：38名(5名、8名、3名、  
5名、3名、3名、1名、4名、6名)  
**入場料等**：無料  
**共催等**：一般財団法人地域創造(助成)

中高生のためのてつがくカフェ。て  
つがくカフェや運営のための会議な  
ど中高生たちといっしょに考えまし  
た。



### (3) 考えるテーブル 民話ゆうわ座

**会期**：2019年12月21日  
**会場**：1fオープンスクエア  
**入場・参加者数**：270名  
**入場料等**：無料  
**共催等**：民話 声の図書館プロジェクト  
チーム(共催)、一般財団法人地域創造  
(助成)

民話の中で、どのようにして子ども  
はこの世にあらわれ、成長していく  
のかを、民話の会会員からの話題提  
供と会場からの発話を通して考えま  
した。



## C《スタジオ情報発信\_\_ラウンジ交流展示》

2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 >  
C《スタジオ情報発信\_\_ラウンジ交流展示》

### (1) ラウンジ交流展示 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

会期：2019年4月27日-5月5日（前期）、5月6日-6月30日（後期）  
会場：1fオープンスクエア（前期）、7fラウンジ（後期）  
入場・参加者数：10,788名  
入場料等：無料  
共催等：NPO法人20世紀アーカイブ仙台（共催）、仙台市歴史民俗資料館（協力）、一般財団法人地域創造（助成）

【イベント】

・トーク「どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ」  
（2019年4月29日/1fオープンスクエア/参加者数：76名）

2012年度から続いているプロジェクト。仙台のどこかではあるけれども詳細がわからない古い写真を展示し、来場者の記憶や証言をもとに、それら写真の場所や年代を明らかにしました。今回は、仙台市歴史民俗資料館所蔵の撮影場所が不明な写真を中心に展示しました。



### (2) ラウンジ交流展示 2011・3・11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた いいつたえむかしばなし はなし その7 牡鹿郡女川町周辺の民話

会期：2019年7月6日-9月1日  
会場：7fラウンジ  
入場・参加者数：3,665名  
入場料等：無料  
共催等：「民話 声の図書室」プロジェクトチーム（共催）、一般財団法人地域創造（助成）

民話の語り手をたずね、その土地に伝承された民話を聞き歩く活動を約45年にわたり続けてきた「みやぎ民話の会」が、宮城県牡鹿郡女川周辺の浜で、1980年代に聞いた民話を紹介しました。会期中には、みやぎ民話の会メンバーが会場に滞在する日も設け、来場者とコミュニケーションをとりました。



2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 >  
C《スタジオ情報発信\_ラウンジ交流展示》

### (3) ラウンジ交流展示 黒川郡大和町升沢の暮らし〈なりわい〉が結ぶ山・村・人 — 移転集落の風景を記憶の窓として —

会期：2019年10月25日-2020年1月5日  
会場：7fラウンジ  
入場・参加者数：4,888名  
入場料等：無料  
共催等：「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト（共催）、一般財団法人地域創造（助成）

メディアスタディーズの登録団体として活動する「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクトの企画による展示。日米軍事演習を契機に集団移転がなされた黒川郡大和町升沢地区。升沢の記録保存調査に参加した手代木信成氏が撮影した移転前後の村の人々の暮らしや自然の風景の写真を、聞き取りで得られた言葉とともに紹介しました。



### (4) ラウンジ交流展示 KADAN Bridge / いろいろどりの掛け違い

会期：2020年1月11日-3月14日  
会場：7fラウンジ  
入場・参加者数：6,875名  
入場料等：無料  
共催等：地域探検隊-TTT-（共催）、公益財団法人仙台観光国際協会、花壇大手町町内会、学校法人角川学園専門学校 花壇自動車大学校（協力）、一般財団法人地域創造（助成）

メディアスタディーズの登録団体「地域探検隊-TTT-」の企画による展覧会。藩主・伊達政宗公の仮屋敷があった仙台市花壇地区をテーマとした展示で、広瀬川の定点記録写真や、花壇団地での生活風景、留学生・外国人居住者の暮らし、川底に見える橋脚らしき跡の調査などを、写真やスケッチ、映像などさまざまな手法で紹介しました。



[イベント]

- ・ツアー「花壇を歩く」  
(2020年2月2日/参加者数:22名)
- ・トーク「留学生/外国人居住者を交えたトーク」  
(2020年2月15日/7fスタジオa / 参加者数:27名)

## D《地域文化アーカイブ》

2. 企画事業 > 2-1. 「ナラティブの修復」事業 > D《地域文化アーカイブ》

### (1) 民話 声の図書室

民話 声の図書室プロジェクトチームとの協働により、みやぎ民話の会が45年にわたって記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声の資料化を行いました。また、あらたな記録活動を進め、「考えるテーブル 民話ゆうわ座」の開催、資料展示を行ったほか、DVD2本を制作しました。



### (2) どこコレ？—おしえてください昭和のセンダイ—

NPO法人20世紀アーカイブ仙台と協働し、「ラウンジ交流展示」やトークを通じて、詳細が不明な仙台の古い写真のアーカイブに取り組みました。また、ウェブサイトでは、展示した写真を来場者のコメントが書かれた付箋とともに公開しました。



## 2-2. 発信・活用推進事業

各種団体との連携を通じて地域における役割を担うとともに、市民図書館をふくめたメディアテークの総合的な情報アクセス機能の活性化を図る事業。

### A《バリアフリー・デザイン》

2. 企画事業 > 2-2. 発信・活用推進事業 > A《バリアフリー・デザイン》

#### (1) バリアフリー上映「グッモーエビアン！」

会期：2019年6月2日  
 会場：7fスタジオシアター  
 入場・参加者数：127名（2回上映）  
 入場料等：無料  
 共催等：—

ボランティアの制作により、目の不自由なカタが楽しめる音声解説、耳の不自由なカタが楽しめる日本語字幕、また、託児サービスを併せた上映を行いました。

[上映作品]

「グッモーエビアン！」

（監督：山本透／2012年）



#### (2) バリアフリー上映「パンドラの匣」

会期：2019年12月1日  
 会場：7fスタジオシアター  
 入場・参加者数：130名（2回上映）  
 入場料等：500円  
 共催等：—

ボランティアの制作により、目の不自由なカタが楽しめる音声解説、耳の不自由なカタが楽しめる日本語字幕、また、託児サービスを併せた上映を行いました。

[上映作品]

「パンドラの匣」

（監督：富永昌敬／2009年）



#### (3) 日本語字幕制作講座

会期：2019年6月12日、19日、26日（全3回）  
 会場：7fスタジオb  
 入場・参加者数：2名  
 入場料等：無料  
 共催等：—

耳の不自由なカタが映画を楽しめる日本語字幕の制作講座を実施しました。



#### (4) 音声解説制作講座

会期：2019年6月14日～8月2日の  
毎週金曜日（全8回）  
会場：7fスタジオa  
入場・参加者数：23名  
入場料等：無料  
共催等：—

目の不自由な方が映画を楽しめる  
音声解説の制作講座を実施しまし  
た。



#### (5) 手ではなすおはなしの会

会期：2019年7月28日、12月22日（全  
2回）  
会場：1fオープンスクエア、2f会議室  
入場・参加者数：68名（14名、54名）  
入場料等：無料  
共催等：仙台市民図書館

ボランティアグループ「まほうの手」  
による手話のおはなし会を実施しま  
した。



## B《館長発信事業》

2. 企画事業 > 2-2. 発信・活用推進事業 > B《館長発信事業》

### (1) 鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 1じかんめ

会期：2019年6月29日  
 会場：1fオープンスクエア  
 入場・参加者数：146名  
 入場料等：無料  
 共催等：一般財団法人地域創造（助成）

当館館長で哲学者の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルと語り合う新シリーズ。「ドートクのじかん」と銘打ち、あらためて「徳目」のほんとうの意味について、ひも解いていきます。農業史研究者の藤原辰史氏をゲストに迎え、「親切」について対話を重ねました。



### (2) 鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 2じかんめ

会期：2019年8月17日  
 会場：1fオープンスクエア  
 入場・参加者数：194名  
 入場料等：無料  
 共催等：一般財団法人地域創造（助成）

建築家でo+hを主宰する大西麻貴氏と百田有希氏をゲストに迎え、「正直」について対話を重ねました。



## C《地域文化連携》

2. 企画事業 > 2-2. 発信・活用推進事業 > C《地域文化連携》

### (1) ショートピース！仙台短篇映画祭2019

会期：2019年9月14日-16日  
 会場：7fスタジオシアター、1fオープンスクエア  
 入場・参加者数：1,211名  
 入場料等：前売券＝全日フリーパス4,000円、3プログラム回数券2,500円 当日券＝1プログラム券1,000円（高校生以下、豊齢・障害者手帳等で800円）、ほか  
 共催等：仙台短篇映画祭実行委員会（共催）

市民有志による実行委員会と共催で、仙台で上映される機会が少ない短篇映画を中心とした映画祭を開催しました。制作者を招聘してのトーク、バリアフリー上映、上映関連展示など、さまざまな角度から映画にふれる機会となりました。

[上映プログラム]

- ・MOOSIC LAB短篇セレクト
- ・新しい才能に会う
- ・もぎりさん登場！！
- ・バリアフリー上映「樹木希林のばあばとフルタチさん」
- ・マルケル×モンタン
- ・311明日&日向朝子監督短篇上映
- ・在仙中学・高校生作品上映プログラム、ほか

[ゲスト]

柴野太郎、大場丈夫、鈴木郁也、佐藤安稀、片桐はいり、杉田協士、三宅唱、山戸結希、江口洋子、ほか



### (2) せんだいデザインリーグ2020卒業設計日本一決定戦〈中止〉

会期：2020年3月8日-15日  
 会場：1fオープンスクエア、5fギャラリー3300、6fギャラリー4200、7fスタジオシアター、7fスタジオa、スタジオオb  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台建築都市学生会議（共催）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。  
 ※無観客で審査の様子をネット配信する「SDL:Re-2020」として開催しました。

### (3) 定禅寺通りイベント共催事業等

ストリートに開かれた場として、定禅寺通りを中心に開催されているイベントと連携・協力しました。

#### a) 仙台・青葉まつり協賛会との連携

今回で35回目となる「仙台・青葉まつり」にあわせ、青葉まつりの歴史紹介や、すずめ踊りの参加祭連の紹介、演舞披露を行いました。  
 (2019年5月18日-19日/1fオープンスクエア/来場者数:1,254名)



#### b) とっておきの音楽祭実行委員会SENDAIとの連携

「みんなちがって、みんないい」を合言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、「心のバリアフリー」を目指す「とっておきの音楽祭」にあわせ、1fオープンスクエアを会場としたイベントを行いました。

[イベント]

- ・スペシャルライブ

(2019年4月21日/1fオープンスクエア/来場者数:479名)

- ・本祭開催時の会場

(2019年6月2日/1fオープンスクエア/来場者数:764名)



#### c) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会との連携

今回で29回目を迎える「定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台」にあわせ、夏の交流ライブほか、本祭時にはメディアテーク・ステージを開設しました。

[イベント]

- ・交流ライブ

(2019年7月14日-15日/1fオープンスクエア/来場者数:1,196名)

- ・本祭開催時の会場

(2019年9月6日-8日/1fオープンスクエア/来場者数:6,556名)



#### d) その他

「SENDAI光のページェント」の開催時期に合わせ、1fオープンスクエアで人々が自由に集い、くつろいだ時間を過ごすことができる広場を提供しました。

(2019年12月16日-28日/1fオープンスクエア)



## D《施設活用推進》

2. 企画事業 > 2-2. 発信・活用推進事業 > D《施設活用推進》

### (1) とぶらす・ウィーク

会期：2019年7月27日-8月1日  
 会場：1fオープンスクエア、2f映像音響ライブラリー、図書館ほか  
 入場・参加者数：3,854名  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台市民図書館（共催）

「ひんやり、あります」をテーマに図書や映像音響資料を展示しました。1階では仙台を中心とした博物館施設の共同事業体（SMMA）参加館学芸員による選書を展示したほか、「昼と夕方館内放送」と称して、連日、各種企画や映像音響ライブラリー資料を紹介しました。また、「バックヤードツアー」では屋上や地下書庫などを見学したほか、「活版印刷体験」も行いました。



### (2) スクエア図書館「仙台と出会う」

会期：2019年4月16日-18日  
 会場：1fオープンスクエア  
 入場・参加者数：1,770名  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台市民図書館（共催）

仙台市民図書館との共催で「仙台と出会う」をテーマにした資料の特別展示。地域の歴史や自然・文化、困ったときに必要な生活情報を紹介する図書を展示したほか、各種生活情報や文化施設のパンフレットなどを配布しました。



## 2-3. せんだい・アート・ノード・プロジェクト

「優れたアーティストのユニークな視点と仕事」と、地域の「人材、資源、課題」をつなぐ事業。

### A《地域展開事業》

2. 企画事業 > 2-3. せんだい・アート・ノード・プロジェクト > A《地域展開事業》

#### (1) 川俣正／仙台インプログレス

会期：通年

会場：仙台市沿岸部、7fスタジオa、ラウンジ

入場・参加者数：9,844名

入場料等：—

共催等：新浜町内会、貞山運河倶楽部、東北生活文化大学（協力）、損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）（助成）

[イベント]

・「みんなの木道」制作

（2019年7月20日-7月26日／会場：貞山運河ほか／参加者数：58名）

・「みんなの木道」お披露目

（2019年7月27日／会場：貞山運河ほか／参加者数：60名）

・川俣正／海岸沿いの新たな構想づくりワークショップ

（2019年12月22日／会場：7fスタジオa／参加者数：30名）

・川俣正／仙台インプログレス2019 活動報告展

（2020年1月24日-3月25日／会場：7fラウンジ／入場者数：9,636名）

・アートノード・ミーティング07

（B《コミュニケーション事業》を参照）

川俣正氏による仙台市沿岸部の課題に長期的に向き合うプロジェクト。「みんなの橋」制作にむけた取り組みとして、貞山運河の海側に「みんなの木道」を制作しました。地元町内会主催のイベント「貞山運河の渡し舟と新浜フットパス2019 port1」で完成した木道をお披露目しました。

また、「アートノード・ミーティング07」や「川俣正／仙台インプログレス2019 活動報告展」を実施するとともに、4年間の活動をまとめたカタログ「川俣正／仙台インプログレス2016-2020」を発行しました。



## (2) 藤浩志／ワケあり雑がみ部

会期：通年

会場：仙台中心市街地、7fスタジオb、1fオープンスクエアほか

入場・参加者数：3,517名

入場料等：無料

共催等：仙台市環境局（協力）

[イベント]

・ワケあり雑がみ部 部活動立ち上げ式  
（2019年5月18日／会場：7fスタジオb／参加者数：50名）

・雑がみ工場見学ツアー

（2019年6月17日／見学：山傳商店仙台港リサイクルセンター、若林環境営業所／参加者数：26名）

・もらってうれしい!? 雑がみやげ

（2019年6月23日／会場：7fスタジオb／講師：那須賢輔（美術教室prop代表）／参加者数：140名）

・アートノード・ミーティング08

「ワケあり雑がみ部」活動振り返り会  
（2019年8月4日／会場：1fオープンスクエア／参加者数：40名）

・雑がみ部 成果発表

（2019年8月4日-8月8日／会場：1fオープンスクエア／入場者数：2,652名）

2017年から始まったアーティスト藤浩志氏による、ごみの資源化プロジェクトの第3期。5月から8月にかけて、毎週部活を展開し、館内や市役所内で収集した3種類（紙箱・包装紙・紙袋）の雑がみを使って自由に作品を制作しました。



### （3）伊達伸明／しらべの細道・埋もれてたまる課

会期：通年  
 会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）、仙台市立岡田小学校ほか  
 入場・参加者数：647名  
 入場料等：無料  
 共催等：—

[イベント]

- ・岡田小学校埋木校名板制作  
 (2019年5月21日-6月28日/仙台市立岡田小学校/参加者数44名)
- ・しらべの細道vol.4【展覧会】東海林恵史の東北鉱山突入記  
 (2020年2月7日-3月1日/会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）/入場者数274名)
- ・しらべの細道vol.4「東海林恵史の東北鉱山突入記」展 関連トーク「鉱山脈々」  
 (2020年2月23日/会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）/参加者数：34名/協力：東海林恵史)
- ・しらべの細道vol.5【展覧会】がけっぶちの防空壕  
 (2020年3月6日-3月29日/会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）/入場者数：295名/協力：越後谷出、仙台・空襲研究会)
- ・しらべの細道vol.5がけっぶちの防空壕 関連トーク「防空壕のいま」  
 (2020年3月8日/会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

美術家伊達伸明氏が企画する2つのプロジェクト。通常は研究や事業の準備段階とされる「リサーチ」の魅力に着目し、さまざまな分野の調査・研究名人を紹介する展覧会シリーズ「しらべの細道」を開催しました。また、「埋もれてたまる課」は、仙台の希少工芸材「埋木」を活動テーマに、岡田小学校の6年生と岡田産埋木製校名板を制作しました。



#### （4）東北リサーチとアートセンター（TRAC）

2017年度から引き続き、仙台や東北の歴史・資源・課題などを調べ、アートや表現につなげる活動と交流のための拠点を設置し、アーティストを招聘して実施する主催事業のほか、運営を担う3団体からなるパートナー「やわらかな土から」との協働事業も行いました。

（「やわらかな土」から構成団体：一般社団法人NOOK、3.11オモイデアーカイブ、NPO法人エイブルアートジャパン）

#### 【実施内容】

##### 【展覧会】立ち上がりの技術vol.4 レコメン堂

会期：2019年11月8日-2020年2月1日  
 会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）ほか  
 入場・参加者数：492名  
 入場料等：—  
 共催等：やわらかな土から

様々な作り手が生み出した“表現のようなもの”を、推薦者（レコメンバー）からの一般応募によって集めた展覧会。スケッチ、日記、写真、映像など多様な“表現のようなもの”を展示したほか、レコメンバーが展示物の魅力を紹介する「レコメンバトル」を開催しました。



#### 【イベント】

- てつがくサロン  
 （2019年11月22日／会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）／参加者数：35名）
- レコメンバトル  
 （2019年12月15日／会場：7fスタジオa／参加者数：35名）
- 交流パーティー  
 （2019年12月15日／会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）／参加者数：21名）
- ギャラリーツアー  
 （2019年12月15日／会場：東北リサーチとアートセンター（TRAC）／参加者数：9名）



## B《コミュニケーション事業》

2. 企画事業 > 2-3. せんだい・アート・ノード・プロジェクト >  
B《コミュニケーション事業》

### (1) TALK（トーク）

アーティストや専門家によるトークイベント。今年度は、菊地充洋氏（analog代表）、関本欣哉氏（Gallery TURNAROUND代表）、つくる場所をつくる！DIY PROJECT、菅原匠子氏（曲線）、清水チナツ氏（PUMPQUAKE）、FabLab SENDAI-FLAT（一般社団法人FLAT）、小岩勉氏（写真家、NEU FILM）、縦糸横糸合同会社、SARP：仙台アーティストランプレイス、をパートナーに企画しました。

#### 【実施内容】

##### a) タイのアートスタジオの現在

会期：2019年8月17日  
会場：analog  
入場・参加者数：23名  
入場料等：1,000円  
企画運営：analog

タイのバンコクにあるエッチング版画スタジオ「pineapple print press studio」より、作家兼オーナーでもあるKONTORN SATJEEKUL（コントーン・サッチークーン）氏を招き、仙台の印刷スタジオanalogの菊地充洋氏を聞き手に、タイの版画シーン、アーティストの制作状況や表現拠点となるスタジオの現状についてうかがいました。



[ゲスト等]

KONTORN SATJEEKUL (pineapple print press studio [Bangkok]オーナー/アーティスト)、菊地充洋 (analog代表)、高田彩 (ビルド・フルーガス代表)

##### b) Modern Sculpture を超えて

会期：2019年8月24日  
会場：のりっぱ  
入場・参加者数：35名  
入場料等：無料  
企画運営：Gallery TURNAROUND  
協力：地域探検隊 -TTT-、のりっぱ部会、コトバ事務所

仙台市出身の彫刻家、研究者として活躍する小田原のどか氏を招き、ご自身の制作活動、また日本の公共空間における彫刻について近年の状況をふまえ、お話いただきました。



[ゲスト等]

小田原のどか（彫刻家・彫刻研究者・出版社代表）、関本欣哉（Gallery TURNAROUND代表）

### c) 生きづらさを離脱する～スペース、コミュン、アナーキー～

会期：2019年9月14日  
会場：スタジオ開墾  
入場・参加者数：44名  
入場料等：1,000円  
企画運営：つくる場所をつくる！DIY PROJECT  
協力：協同組合仙台卸商センター

新たな生の在り方を提言する政治学者の栗原康氏、スペースの共同運営やコミュンの実践経験をもつ哲学者の森元齋氏、シュルレアリスム研究を専門に、翻訳や書籍の装丁を手がける五井健太郎氏を招き、現代社会の制度にとらわれない新たなコミュニティの在り方や生き方についてお話いただきました。

[ゲスト等]

栗原康（政治学者）、森元齋（哲学者）、五井健太郎（シュルレアリスム研究）、中里勇太（文芸評論）



### d) なぞると、ずれる。草の根で紡ぐ『慰問文集』の再々発行プロジェクト

会期：2019年11月21日  
会場：曲線  
入場・参加者数：24名  
入場料等：無料（ワンドリンク制）  
企画運営：菅原匠子（曲線）、清水チナツ（PUMPQUAKE）

8ミリフィルム、記念写真といった「市井の人びとの記録」のアーカイブづくりに、10年以上にわたり取り組んできた松本篤氏によるトーク。現在進めている、今から80年前に戦時中の岐阜で綴られた『慰問文集』を再々発行するプロジェクト『なぞると、ずれる』について話をうかがいました。

[ゲスト等]

松本篤（NPO法人remoメンバー／AHA!世話人）、北野央（公益財団法人仙台市市民文化事業団）



2. 企画事業 > 2-3. せんだい・アート・ノード・プロジェクト >  
B《コミュニケーション事業》

### e) 「つくる」を教える、「つくる」と向き合う

会期：2019年12月1日  
会場：FabLab SENDAI-FLAT  
入場・参加者数：12名  
入場料等：無料  
企画運営：FabLab SENDAI-FLAT

「デザイン=より良くすること、豊かにすること」という考えから、美術教育を通して人を豊かにしたいと日々奮闘する西谷圭氏。私たちがどのように「作ること」に向きあえるかについて美術教育の課題等をふまえ、お話いただきました。

[ゲスト等]

西谷圭（公立中学校美術科教員）



### f) ふたりの写真家「記録と記憶・語り始める風景」

会期：2019年12月7日  
会場：SARP：仙台アーティストランプレイス  
入場・参加者数：68名  
入場料等：無料  
企画運営：小岩勉／NEU FILM

気仙沼市の中山間地区「水梨」に暮らしながらその地を撮影し続ける佐々木徳朗氏と、水梨を離れてなお、水梨を撮り続ける佐々木隆二氏の兄弟写真家に互いの写真の違いや写真を撮り続けることについてお話をうかがいました。

[ゲスト等]

佐々木徳朗（写真家・農家）、佐々木隆二（写真家）、小岩勉（写真家）



### g) 神楽ってなんですか？～装束からはじめる郷土芸能～

会期：2020年1月25日  
会場：せんだい演劇工房 10-BOX (box-1)  
入場・参加者数：71名  
入場料等：おひねり  
企画運営：縦糸横糸合同会社  
協力：鳴海屋紙商事株式会社、有限会社スマッシュ

全国に伝わる「神楽（かぐら）」の衣装や道具まで、深い造詣と愛着をもつ神楽伝承者の方々に、舞台を見るだけではない神楽の楽しみ方について語っていただきました。

[ゲスト等]

佐藤高広（南部神楽の伝承者／神楽面師）、恵木勇也（石見神楽の伝承者／神楽面師）、小岩秀太郎（縦糸横糸合同会社のコーディネーター）、山田雅也（縦糸横糸合同会社のプロデューサー）



### h) 仙台の表現する場を哲学するーこの街の哲学者との対話ー

会期：2020年2月8日  
会場：SARP：仙台アーティストランプレイス  
入場・参加者数：20名  
入場料等：無料  
企画運営：SARP：仙台アーティストランプレイス

仙台で営まれている表現活動について、どのようにすれば受動的でなく能動的な関わりをしていくことができるのか、参加者が事前に紙に書いた問いに、哲学者の野家啓一氏が応答する形で、アートや表現の場などの可能性について探りました。

[ゲスト等]

野家啓一（哲学者）、佐立るり子（美術家）



### i) Bio-diversity ～食べたり食べられたり～

会期：2020年2月9日  
会場：せんだい環境学習館 たまきさんサロン  
入場・参加者数：34名  
入場料等：無料  
企画運営：Gallery TURNAROUND  
共催：仙台市環境局

仙台市環境局が進める「生物多様性保全推進事業～せんだい生きもの交響曲～」と「TALK」の連携企画の第二弾。美術家の佐々瞬氏と人類学者の石倉敏明氏が身の回りに生息する生物の「在来種/外来種」の境界の問題や、人間との関係性について、各国の食文化の違いなどをもとに話し合いました。

[ゲスト等]

佐々瞬（美術家）、石倉敏明（人類学者）、今井はるか（仙台市環境局）



2. 企画事業 > 2-3. せんだい・アート・ノード・プロジェクト >  
B《コミュニケーション事業》

## (2) JOURNAL (ジャーナル)

アートノード・プロジェクトについて広く伝えるとともに、地域の資源や課題と現代アートとの関係を可視化・記録していく印刷物を発行しました。

編集：(株) コミューナ、デザイン：ホームシックデザイン

- ・第6号（2019年9月）
- ・第7号（2020年3月）



## (3) アートノード・ミーティング

会期：2019年5月20日（第6回）、2019年7月28日（第7回）、2019年8月4日（第8回）、2019年11月29日（第9回）

会場：メディアテーク1fオープンスクエア、7fスタジオa

入場・参加者数：182名（40名、60名、40名、42名）

入場料等：無料

共催等：—

アートノード・プロジェクトについての公開ミーティングを行いました。第6回は、アーツカウンシル東京の佐藤李青氏を迎え、2016年からのプログラムを振り返り、仙台での「アートの現場づくり」について語りました。第7回は、アーティストの川俣正氏が東日本大震災の津波被災区で進める長期プロジェクト「仙台インプログレス」の2019年の活動の報告会を行いました。海側の魅力を引き出す作品として制作した木道について報告しました。第8回は、「ワケあり雑がみ部」部員を交え活動を振り返り、今後の期待などを話し合いました。第9回は、アートノードが2017年に設置した「東北リサーチとアートセンター（TRAC）」の成果や課題を検証しました。ゲストコメンテーターにアーツ前橋学芸員・今井朋氏、せんだいみやぎNPOセンター所長・青木ユカリ氏を迎えました。



## 2-4. その他事業

2. 企画事業 > 2-4. その他事業

### (1) SMMA仙台・宮城ミュージアムアライアンス

仙台を中心とした博物館施設の共同事業体（2019年度18施設）の事務局を担い、ウェブサイトの運営等を行ったほか、参加館が一堂に会し、専門家によるトークや体験講座を行うイベント「ミュージアム・ユニバーズ―すてき・ふしぎ・おもしろい―」（2019年12月14日-15日／入場者数：1,460名）を開催しました。



### (2) 活版印刷工房

会期：2019年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、7月28日（とぶらす・ウィーク期間中）、8月18日、9月8日、10月20日、11月17日、12月8日、1月19日、2月16日

会場：地下1f準備室

入場・参加者数：402名

入場料等：無料

共催等：活版印刷研究会（共催）

活版印刷研究会と協働し、当館で所蔵する活版印刷の活字や道具、手フット印刷機を使ったワークショップや、「とぶらす・ウィーク」での展示等を行いました。



### (3) ホスピタリティ向上事業

#### a) こどもスクエア

会期：2019年5月27日-5月29日、  
8月26日-28日  
会場：1fオープンスクエア  
入場・参加者数：739名（420名、  
319名）  
入場料等：無料  
共催等：—

段ボールのトンネルや島に見立てたカーペットで空間を構成し、小さな子どもたちが安心して遊ぶことのできる場をつくりました。



#### b) シネバトル わたしのイチ押し映画（シネ）はコレよ！

会期：2019年4月24日、6月26日、  
8月28日、10月30日、12月25日（全  
5回）  
会場：2f映像音響ライブラリー  
入場・参加者数：185名（27名、28名、  
27名、49名、54名）  
入場料等：無料  
共催等：—

3分間の制限時間で映画を紹介しあい、参加者が一番見なくなった作品を投票で決める「シネバトル」。2013年度から続き、第25-28回を実施しました。今年度の金賞・銀賞が再び集まるグランドチャンピオン大会も行い、三宮邦子氏が選ばれました。



#### c) シネバトル わたしのイチオシ映画（シネ）はコレよ！ チャンピオン上映会

会期：2020年2月11日  
会場：7fスタジオシアター  
入場・参加者数：104名（上映85名、ト  
ークサロン19名）  
入場料等：無料  
共催等：—

2019年度のグランドチャンピオンが推薦する映画を上映しました。また、上映後には、チャンピオンを囲んでトークサロンを開催しました。  
[上映作品]  
『ブルックリン』（監督：ジョン・クローリー／2015年）



#### d) シネバトル トークサロン

会期：2019年5月29日、7月31日、  
9月25日、11月27日、2020年1月  
29日、2月11日（全6回）  
※2020年3月25日は、新型コロナウ  
イルス感染拡大防止のため中止  
会場：2f映像音響ライブラリー、7fス  
タジオa  
入場・参加者数：100名（14名、16名、  
18名、18名、15名、19名）  
入場料等：無料  
共催等：—

映画や映像を自由に語り合える場として開催しました。各回のテーマは、「『仁義なき戦い』東映実録ヤクザ映画と仙台出身俳優・菅原文太の魅力!」、「『カメラを止めるな!』はなぜ止まらないのか?」、「限定空間がなぜ面白い!?ワンシチュエーション映画の愉しみ」、「チャップリン VS 淀川長治」、「ドキュメンタリーは、モヤモヤするから面白い」、「『ブルックリン』を語ろう」。



### e) smtオープンピアノ

会期：2019年5月8日、6月21日、7月2日、7月24日、8月2日、9月2日、10月11日、11月5日、12月11日、1月15日、2月28日

会場：1fオープンスクエア

入場・参加者数：217名（15名、33名、24名、30名、20名、10名、20名、10名、15名、20名、20名）

入場料等：無料

共催等：—

オープンスクエアに特製のアップライトピアノを設置し、誰でも自由に弾ける「smtオープンピアノ」を実施しました。さまざまな来館者が思い思いに演奏を楽しみました。



### (4) 伊東豊雄 講演会「メディアテークは、なにを目指していたか」

会期：2020年1月26日

会場：1fオープンスクエア、7fスタジオシアター

入場・参加者数：813名

入場料等：無料

共催等：仙台市（共催）、一般財団法人地域創造（助成）

2021年1月に開館20年を迎えるせんだいメディアテークのイベントとして、当館の設計者である伊東豊雄氏をお迎えし、開館当初のねらいや、当時思い描いた未来像を振り返りました。後半は、メディアテークで日々繰り上げられる諸活動から得られる考えについて、鷺田清一館長とともに話しました。



### 3. 受託事業

仙台市より受託した事業。

#### 3がつ11にちをわすれないためにセンター（震災アーカイブ事業）

2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声、記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する取り組み「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営している。通称「わすれん！」。

3. 受託事業 > 3がつ11にちをわすれないためにセンター（震災アーカイブ事業）

##### (1) 相馬クロニクルダイアログ

会期：2019年9月29日、12月8日  
 ※2020年3月15日（「星空と路」の一環として）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  
 会場：7fプロジェクトルーム  
 入場・参加者数：29名（10名、19名）  
 入場料等：無料  
 共催等：相馬クロニクル（共催）

福島県立相馬高校放送局が制作した音声・映像作品に見られる福島県の高校生の震災や原発事故に対する思いから、私たちの暮らしやこれからのことを話す対話の場を開く取り組み。高校生の作品を上映するとともに、今年度は「フィクションで伝える（震災）」、「変わりゆく福島」といったテーマで対話しました。



##### (2) 星空と路〈中止〉

会期：2020年3月11日-4月19日  
 会場：7fスタジオシアター、7fラウンジ、7fプロジェクトルーム、1fオープンスクエア  
 入場・参加者数：—  
 入場料等：無料  
 共催等：—

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者による活動を紹介する展示、記録した東日本大震災にかかわる映像の上映や、ゲストを交えたトークなど。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。  
 [中止となったイベント]

- ・上映と対話 東日本大震災 山元町の記録「忘れまじ この悲しみを」  
 （2020年3月14日／7fスタジオシアター）
- ・上映と対話 中野伝承プロジェクト 第1弾インタビュー映像『日和山と中野小太鼓』完成祝賀会  
 （2020年3月14日／7fスタジオシアター）
- ・上映と対話 「8年後の飯館村調査」  
 （2020年3月15日／7fスタジオシアター）
- ・上映と対話 相馬クロニクルダイアログ第7回 テーマ「伝えなかったこと」（再掲）  
 （2020年3月15日／7fスタジオシアター）

##### (3) リアルふっこうボイス

会期：2020年3月18日  
 会場：7fプロジェクトルーム  
 入場・参加者数：—  
 入場料等：無料  
 共催等：—

東日本大震災の被害にあわれた住民や支援者など、復興まちづくりに携わる様々な方の想いを生の声で記録・発信すると同時に、復興まちづくりに携わるメンバーが、それらの声や被災地の復興の現状をホンネで話し合う音声番組。第42回となった今回は副題を「閑上のこえ 第6」として配信しました。

## 4. 情報サービス事業

各種ライブラリーでの資料提供や情報メディア活用の支援。

4. 情報サービス事業 > 4-1. 映像音響ライブラリー、4-2. 教材ライブラリー、  
4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）、4-4. 地域映像ライブラリー

---

### 4-1. 映像音響ライブラリー

資料点数 14,529点  
貸出点数 58,347点  
新規登録者数 475名

### 4-2. 教材ライブラリー

資料点数 4,380点  
貸出点数 432点  
機材貸出点数 278点

### 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）

資料点数 5,905点  
貸出点数 3,272件  
対面朗読件数 207件  
音訳・点訳件数 9件  
音声読み上げパソコン利用件数 4件  
音訳制作件数 25タイトル  
(DAISY資料13タイトル、メディアテーク資料〔情報誌等〕12タイトル)  
点訳制作件数 35タイトル  
(視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録21タイトル、メディアテーク資料〔情報誌等〕14タイトル)

### 4-4. 地域映像ライブラリー

資料点数 16点

## 4-5. デジタルアーカイブ事業

### 《アーカイブ作成活動事業》

#### (1) smtコレクションの制作・公開

主催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動を通じて制作された東日本大震災にまつわる映像などをDVDパッケージにし（今年度17タイトル／累計393タイトル開架）、映像音響ライブラリーおよび教材ライブラリーで公開したほか、ライブラリー利用登録者にとどまらず、内外の報道、研究、上映会等のために貸出を行いました。

#### (2) 映像の仙台史 2

会期：2019年4月29日  
会場：7fスタジオシアター  
入場・参加者数：151名  
入場料等：無料  
共催等：—

平成の終わりにふさわしく、政令指定都市になったばかりの平成元年当時の仙台市の様子を収めた映画や、前回の「映像の仙台史」後に寄贈されたものを上映したほか、1960年代に仙台市で撮影したフィルムの断片を見ながら、どこを撮影したのか、来場者と話しあい特定していくプログラムを開催しました。



#### (3) 35ミリフィルム映写ワークショップ《初級編》

会期：2019年12月15日  
会場：7fスタジオシアター  
入場・参加者数：5名  
入場料等：無料  
共催等：コミュニティシネマセンター（Fシネマプロジェクト）（協力）

映画フィルムと映写機の基本を学びつつ、実際に35ミリフィルムに触れる、スタジオシアターに常設されている映写機に一人ずつフィルムをかけて映写を体験するなどしました。



## 4-6. 活動支援事業

### (1) 学校連携事業

仙台市小学校教育研究会図画工作部会と連携し、映像制作プログラム「コマ撮りアニメーションを作ろう！」（実践校数12校、児童数1,043名）、「30秒MOVIE」（実践校数1校、児童数99名）の希望校への機材貸出と授業研究、図画工作科研究部実技研修会への講師派遣（8月1日／参加者数23名）、また仙台市立木町通小学校への講師派遣を行いました。

### (2) 音声パソコンステップアップ講座

会期：2019年7月14日、2020年2月16日 目の不自由なかたを対象として、音声パソコンの講習を行いました。  
 会場：2f会議室  
 入場・参加者数：14名（7名、7名）  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台市視覚障害者福祉協会（協力）

### (3) メディアスタディーズ

プロジェクトに取り組む個人・団体の方々との協働により、7fスタジオを拠点とし、地域の歴史や文化をデジタル・アーカイブとして残していく活動や、そのための企画・編集作業など、メディアを使った創作と実践に取り組みました。

#### 《プロジェクトと協働者》

- ・活版印刷工房（活版印刷研究会）
- ・てつがくカフェ（てつがくカフェ@せんだい）
- ・ユースてつがくカフェ てつこの部屋（てつがくカフェ@せんだい）
- ・どこコレ？—おしえてください昭和のセンダイ（NPO法人20世紀アーカイブ仙台）
- ・民話 声の図書室（みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム）
- ・おほはしアラウンド（地域探検隊 -TTT-）
- ・プロジェクション・せんだい（プロジェクション・せんだい）
- ・知る 続く 在来作物プロジェクト（みやぎ在来作物研究会）
- ・仙台前衛藝術の足跡を辿る（仙台ダダ外部調査委員会）
- ・みやぎシネマクラドル（みやぎシネマクラドル）
- ・いきもの記録係（いきもの記録係）
- ・失われた村の風景を記憶しなおす（「失われた風景を記憶しなおす」プロジェクト）
- ・カミングアウト／クローゼット（レインボーアーカイブ東北）
- ・Sendai.log（Sendai.log）
- ・細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ（寺崎英子写真集刊行委員会）
- ・まち・ひとスケープ（まち・ひとスケープ）
- ・映画『あいたくて、ききたくて、旅にでる（仮）』製作プロジェクト（映画『あいたくて、ききたくて、旅にでる（仮）』製作プロジェクト）
- ・スローウォーク・センダイ（スローウォーク・センダイ）

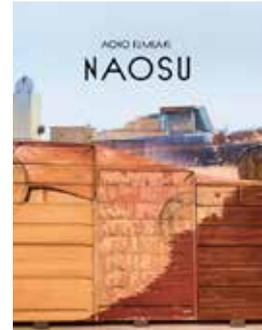
## 5. 配布・刊行物等

今年度、当館で制作し、配布・刊行した冊子や映像音響資料、通信等。

5. 配布・刊行物等 > 5-1. 書籍や報告書等の印刷物、5-2. DVDメディア等の映像音響資料、  
5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等、5-4. その他常備している印刷物

### 5-1. 書籍や報告書等の印刷物

- 『AONO FUMIAKI NAOSU』（書籍）
- 『アートノード・ジャーナル』（第6号、第7号）
- 『川俣正／仙台インプログレス 2016-2020』



### 5-2. DVDメディア等の映像音響資料

smt コレクション DVD 17 タイトル（シリーズ累 393 タイトル）

[内訳]

- ・メディアテーク事業記録（4 タイトル）
- ・協働による制作物（8 タイトル）
- ・アートノード（5 タイトル）

### 5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等

『催し案内』（印刷物／毎月／PDF 版をウェブサイトで公開）

『けやき通り通信』（印刷物／隔月）

『教材ライブラリーだより』（印刷物／隔月／PDF 版をウェブサイトで公開）

『せんだいメディアテーク・メールニュース』（メール配信／毎月／登録者 2,338 名）

ウェブサイト（アクセス総数 573,374 件）

### 5-4. そのほか常備している印刷物

総合案内（日本語版／英語版／フランス語版／中国語版／韓国語版）

総合案内（目や耳の不自由なかたへ）

総合案内（車椅子アクセス）

貸出施設利用案内